（別紙１）

平成 30 年 10 月 22 日
消費・安全局動物衛生課

中国からの旅客の携帯品における
アフリカ豚コレラ（ASF）遺伝子検査陽性例について

○　10 月１日（月）に北京から新千歳空港に到着した旅客の携帯品から収去した豚肉ソーセージ（1.5kg。一定の加熱がされている模様。）について、18 日（木）に動物検疫所において ASF の遺伝子検査（PCR）を実施したところ、ASF ウイルスの遺伝子が確認。

○　このため、19 日（金）に実施したシークエンス（PCR 増幅産物の遺伝子配列の解析）の結果、PCR 産物の配列が現在までに中国、ポーランド、エストニア、ロシア及びジョージアで分離された株と 100%一致し、これらの株と近縁であることが明らかとなった。

○　今後は農研機構 動物衛生研究部門において、感染力のあるウイルスが存在するかを確認するため、ウイルス分離を実施（結果は２～４週間後に出る見込み。）。

○　農林水産省としては、本年８月３日に初めて、中国において ASF が確認されて以降、動物検疫を強化するとともに、注意喚起を行ってきており、今回の確認を受け、関係省庁に情報提供し、水際検疫の再強化を図っているところ。

○　また、都道府県や養豚関係団体を通じて、生産者に対して情報を提供し、農場への侵入防止のため飼養衛生管理基準を遵守するよう改めて指導しているところ。

（検体写真）